

中線9イイスよ
10/10(水)

教育交差点

日本の若者に「インターネット依存」が急速に拡大している。私どもが加わる厚生労働省研究班の最近(2017年度)の調査で、全国で推計約93万人もの中高生に、病的なネット依存の疑いがあることが分かった。

中高生約9万4千人を対象にした今回の調査で、「ネットの使用をやめようとする意欲がない」といった自覚症状があり、「病的使用者」に当たると判断された中学生は12.4%、高校生は16.0%にも上った。

12年度に中高生約10万人を対象に同じ方法で行った調査では、ネット依存は推計約52万人で、5年間で約1.8倍に増えている。08年からの5年間に、ネット

ゲーム依存 受診者急増 深刻な症状なら専門機関へ

五年生・六年生と、保護者を対象に、一般社団法人おきなわアスクより講師をおまねきし、特別授業を開催します。インターネットやスマートフォン、ゲーム依存症について、みんなで考えましょう！

十一月十三日(火)授業参観日

「みんなで考えよう、ネット・スマホ依存」

5年生：3校時
保護者：4校時
6年生：5校時

久里浜医療センター院長

樋口 進

依存傾向にある成人の割合が約1.5倍増加したことも、私どもは確認している。

久里浜医療センターは11年にネット依存外来を国内で初めて開設したが、訪れる患者は現在、7割近くが未成年者で、9割はゲームに依存している。11年末から受診者が急速に増え、初診予約を取るのさえ難しい状態が続いている。

ゲームにはネット接続型のオンラインゲームと、非接続型のオンラインゲームがある。依存性は前者が後者比べて圧倒的に高い。事実、受診するゲーム依存患者のほぼすべては、オンラインゲーム依存で、殊に喫緊の対策が必要な問題だ。

例えば中3のA君はオンラインゲームにはまり、ゲーム時間が1日18時間に及ぶことがある。この半年は不登校、引きこもり、昼夜の逆転が続く。食事は1日1食で、瘦せが目立ってきている。

1日18時間に及ぶことも

ネット依存に関する8項目の質問

(厚生労働省研究班作成の原文の一部を略記)

- インターネットに夢中になっていると感じているか
 - 満足を与えられないため、ネットを使う時間をだんだん長くしなければならぬか
 - 使用を制限したり、完全にやめようとしたりしたが、うまくいかなかったことがたびたびあったか
 - 使用時間を短くした時や完全にやめようとした時、不機嫌や落ち込み、イライラなどを感じたか
 - 使いはじめに意図したよりも長くネットを接続した状態にいるか
 - ネットのために大切な人間関係や、学校・部活動のこともを台無しにしたり、あやうくしたりしたか
 - ネットへの熱中のしすぎをかくすため、家族、先生らにうそをついたことがあるか
 - 絶望的な気持ち、不安などのいやな気持ちや問題から逃げるためにネットを使うか
- 5項目以上に該当する人は「病的使用者」
3～4項目該当の場合は「不適応使用者」

子どもにネット依存の傾向がある場合、保護者や教師はなるべくネットを使う時間を制限するなど工夫してほしい。昼夜逆転の生活が続くと、既に深刻な依存症状が見られる場合には、専門の相談・医療機関への相談・受診をお勧めする。

世界保健機関(WHO)は今年6月、オンラインゲームなどのやり過ぎで日常生活ができなくなる「ゲーム障害」を新たな病気に認定し、「国際疾病分類(ICD)の最新版に載せた。これを機に、研究や治療の飛躍的な進歩が期待される。

依存患者では、学校の成績低下、引きこもり、昼夜の逆転、体力低下、親への暴言・暴力などが頻繁に見られる。生活が破綻し、将来設計が狂った例も珍しくない。

▼ことば

ネット依存 インターネットやオンラインゲーム、会員制交流サイト(SNS)などの使用に自制心が利きにくくなり、日常生活に支障が出た状態。暴力や引きこもり、うつ病などの合併症や脳の障害を引き起こす恐れもある。8月末の厚生労働省研究班の発表では、中高生全体(約650万人)の7人に1人が病的なネット依存の疑いと推計された。その「予備軍」を含めると5人に2人以上との推計もある。依存の比率は男子より女子の方が高いが、症状が深刻化しやすいオンラインゲームの利用では男子の方が高かった。